



免疫調整療法で体の免疫バランスを整える 治療研究を実施中！

【対象疾患：アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、汗疱状湿疹、慢性脱毛症、帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛、メニエール病、ほか】

近年様々な慢性疾患は免疫のアンバランスが一因をなしているという論文が世界中から多数報告されています。そこで注目されているのが免疫に関わる体内因子：サイトカインです。

サイトカインを専門とする研究者と臨床医師が連携し、サイトカインの動態や免疫細胞の状態を把握して、機能性食品やハーブなどで免疫を経口投与することで免疫を調整する治療法です。

免疫調整療法は、2010年にインターフェロンの発見者で世界的に有名な免疫学の権威である小島保彦博士と日本大学の桑原正人先生をはじめ、多くの免疫研究者によって提唱された治療法です。

現状の免疫状態を検査によって把握し、段階的にアンバランスを改善させていくものです。調整するための素材は天然成分のサプリメントを中心としているのが特徴です。小島博士によると「微妙で複雑な免疫システムを調整するには、効果の強い薬剤よりも天然素材のマイルドな作用の方が向いている。」ということから研究が始まり、免疫調整に特化したサプリメントの開発に成功しました。本治療法は始まったばかりですが、既にアトピー性皮膚炎では特に高い効果をあげております。

素材投与期間	1クール3ヶ月（4クール12カ月）
素材投与方法	症状からサプリメントを選んで経口投与 1日2回（空腹時）
効果測定項目	免疫活性度検査、一般血液検査・尿検査等、CTCAE4.0、ほか。

免疫のアンバランスに起因する難治性疾患をコントロール

元々体に備わっている機能を補強・増強させて本来の自己治癒力（ホメオスターシス）を取り戻させるという発想に基づき、自然素材を用いることが体に負担が少なく、複雑な免疫システムを調整する上では最適な選択となることがわかってきました。現状に満足していない、患者さん本位を志向される医師達が立ち上がっています。

お問い合わせは下記まで

日本先進医療臨床研究会
03-5542-1597
（平日10時～17時）
info@jscsf.org